



行政法入門

～行政法の基本を学び、事務を適正執行するための基礎を築く～

ねらい

行政事務の根拠となっている行政関係法規の背後にある基本的な考え方や最新の関係法令の動向を理解することにより、適正な業務執行に必要な知識・能力を身に付けます。

特徴

行政関連法について、基本的な考え方、動向などを含めて網羅的に学習することができます。

形式

本研修は座席を教室型に配置し、講師による講義や演習などを中心に実施します。

■日程【2日間】

8月17日(火)～18日(水)

■予定人数

30名

■対象

行政関連法について更なる知識習得を目指す方

■講師

行政書士 阿形 昭徳

プログラム(予定)

	9:00	12:00	13:00	17:00
1日目	1. 行政法 2. 行政組織法		3. 行政作用法	
2日目	4. 行政の事前手続き 5. 行政不服審査法		6. 行政事件訴訟法 7. 国家補償	

カリキュラム(予定)

時間	内容
1 目 目	9:00 1. 行政法 (1)行政法とは？ (2)行政法の法関係
	12:00 2. 行政組織法
	13:00 3. 行政作用法 (1)行政作用 (2)行政行為 (3)行政立法 (4)行政の非権力的活動形式 (5)行政の実効性の確保 【演習】
	17:00
2 目 目	9:00 4. 行政の事前手続き (1)行政手続法 (2)情報公開法 (3)個人情報保護法 【演習】
	12:00 5. 行政不服審査法 (1)行政救済法 (2)行政不服審査法
	13:00 6. 行政事件訴訟法
	17:00 7. 国家補償 (1)国家賠償法 (2)損失補償 【演習】

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

受講者の声(令和2年度)

- ▶ 行政書士の試験にも活用できそうな内容であった。演習問題もあって今後の業務にも役立つ内容であった。
- ▶ 業務に関係する法律がどのような体系になっているかわかりやすく教えていただいた。実務での例も提示していただいたため非常にわかりやすかった。
- ▶ 審査請求や情報公開について、毎月、住民と接している中で起こりうることなので、概要がわかり勉強になった。
- ▶ 日々業務を行う中で、視野が狭くなりがちであるが、当該法を学ぶことで、全体的、また住民感情に寄り添った視点を持つことができた。